

2023年11月28日作成 Ver.3

《情報公開文書》

膀胱癌におけるLATS-1/2の病理学的意義の解明と新たな治療戦略の構築

研究の概要

【背景】

近年、膀胱癌の新規治療薬が登場しているものの、その延命効果には限界があり、さらに幅広い基礎的・臨床的知見の集積が求められています。Hippo経路は、癌細胞増殖や腫瘍免疫と関連することが知られていますが、その制御因子であるLATS-1/2に関する研究は少なく、膀胱癌における病理学的意義はほとんどわかっていません。

【目的】

膀胱癌におけるLATS-1/2の分子生物学的役割や治療経過に関連があるかを解明すること。

【意義】

上記の目的を達成することで、より効果的で幅広い癌腫に有効な治療薬の開発や、予後予測因子に関して有用な情報を提供できると考えられます。

【方法】

当院で膀胱癌に対して外科的手術を受けた患者さんの診療録の情報と病院に保管している病理組織検体を用いて、LATS-1/2の尿路癌における発現と臨床病理学的特徴や治療経過との関連を検討します。

対象となる患者さん

2012年1月1日から2023年3月31日の間に長崎大学病院泌尿器科・腎移植外科で膀胱癌に対して外科的手術を受けた患者さん。

| 研究に用いる試料・情報 |
|---|
| <p>●研究に用いる情報 下記の情報を診療録より収集します。</p> <ul style="list-style-type: none">・臨床所見（年齢、性別、身長、体重、ECOG Performance Status）・既往歴、生活歴、家族歴・検査結果（血液検査、腫瘍マーカー、尿検査、尿細胞診）・画像検査（膀胱鏡、エコー、CT、MRI、骨シンチ、PET-CT）・病理学的検査（組織学的分類、異型度、深達度、リンパ節転移、断端の評価）・治療内容（手術療法、化学療法、放射線療法、動注療法、膀胱内注入療法）・有害事象内容（手術、化学療法、放射線時の入院、投薬を必要とする副作用）・治療経過 <p>●研究に用いる試料</p> <ul style="list-style-type: none">・膀胱癌に対する手術の際に採取されて病院に保管されている既存の病理組織検体を用いての組織染色、免疫染色を行います。 <p>本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。</p> |
| 試料・情報の利用開始予定日 |
| <p>本研究は 2023 年 12 月 25 日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です</p> <hr/> <p>あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。</p> <p>ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。</p> <p>あらかじめご了承ください。</p> |
| 研究実施期間 |
| <p>研究機関長の許可日～2033 年 12 月 31 日</p> |

| 研究実施体制 | |
|--|--|
| 研究責任者 | 所属：長崎大学病院 泌尿器科 氏名：今村 亮一 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7340 |
| 試料・情報の管理責任者 | 長崎大学病院 病院長 |
| 【研究の内容、試料・情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 泌尿器科 松尾朋博 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095 (819) 7340 FAX 095 (819) 7343 | |
| 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く） | |